

# クローズアップ



T-1の初代グランプリが決定

## 中心街でにぎわいイベント

3月27日、28日に中心市街地でさまざまなイベントを開催。T-1 グランプリ決勝戦の結果発表やダンスバトル、フリーマーケットなど多くの人でにぎわいました。また、広瀬川河畔ではシルクランプを点灯。シルクランプは5月9日(日)まで楽しめます。



ムード満点 シルクランプ



千円市は掘り出し物がいっぱい



熱戦！ダンスバトル



フリマでいい物見つけた



心に響くライブ演奏



シルクランプ点灯式



## いきいき まえばし人



日本語大賞コンクールで優秀賞

頼富 雅博さん・48歳  
南町一丁目

### 言葉を通して心と生き方を伝えたい

人と人をつなぐ日本語をテーマに作文を募集した、日本語大賞コンクール。この大学生・専門学校生・一般の部で優秀賞に選ばれた。「発表できる場があるだけでも感謝していたのに、思いがけず賞をいただけて本当にありがたいです」受賞作は「まあいい言葉の響きに」。自身の経験を基に、現代の日本人が忘れてきている、優しさの詰まった言葉への思いをつづった。

「最近、言葉の温度が冷めてきているように感じます。言葉とは人と人をつなぐもの。ギスギスしてきた今の世の中だからこそ、優しく温かい、まあいいことが求められていると思いますね」  
現在、共愛学園高の国語科教諭。言葉を通して気持ちを伝えることの大切さを教える。自身も執筆活動を行い、月刊誌に連載を持ったことも。思い付いたことを書き留めておくために、手帳とペンが手放せない。「心を静かにして考える時間を持つことが日課になりましたね。構想している時間が楽しいんです」  
休日は趣味の自転車にまたがる。学生時代には、学校のあった京都から函館までツーリングした経験もあるほどの本格派。もちろん現在の通勤も自転車だ。

「景色を見ながらペダルをこぐとリフレッシュできます。いろいろな出会いや発見があって、執筆のヒントをもらうこともよくありますよ」  
夢は本を出版すること。優しい言葉の使い手が紡ぎ出す物語を楽しみに待ちたい。



一丸となって力を発揮

春日中の全校生徒数は2000人弱と、やや少なめですが、少ない人数だからこそ、強い団結力や友情があります。これは、学校行事や学年行事に、みんなが真剣に取り組むことによって生まれます。先輩と後輩の仲もとても良く、春日中の自慢の一つです。特に部活動では、顧問の先生の指導の下、先輩と後輩が協力しながら力の向上を目指して頑張っています。大会やコンクールでは全力で戦い、練習してきた力を発揮してきました。

そのほか、毎月行っている有価物回収や農業体験学習などにも力を入れ、積極的に地域の人たちとの交流を深めています。

校歌にある「明日の日本を担う」。この言葉を心に刻み込み、誇りや人とのつながりを大切にできる人を目指して、これからの学校生活を送っていききたいと思います。



心の支え不屈の塔

## わたしたちの学校 ニュース

わが春日中学校

3年 宮嶋 敦也さん

春日中